



不思議な 不思議な シダの世界へ

World of Pteridophytes

Traveling Makino 2021-2022

Makino Botanical Club

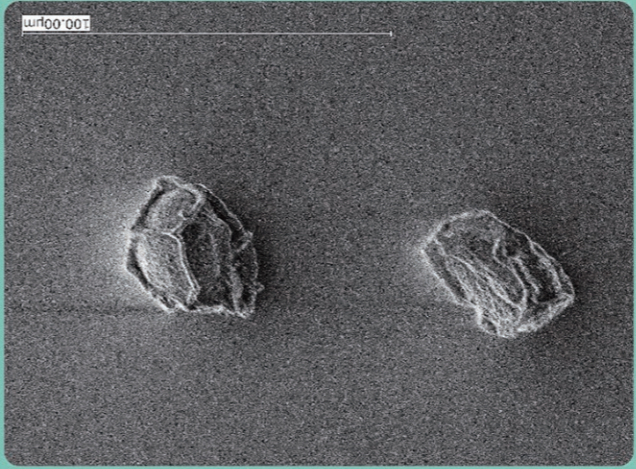


孢子とは何か

シダ植物は花を咲かせ実と種子をつけて子孫を残すことはしません。そもそもそのような仕組みはなく、孢子を介して繁殖します。

孢子は多くのシダで初夏から梅雨明けごろに多く飛散します。雨が降ると発芽して、まずは前葉体とよばれるハート形の植物体を形成します。孢子から直接シダが生えることはないのです。

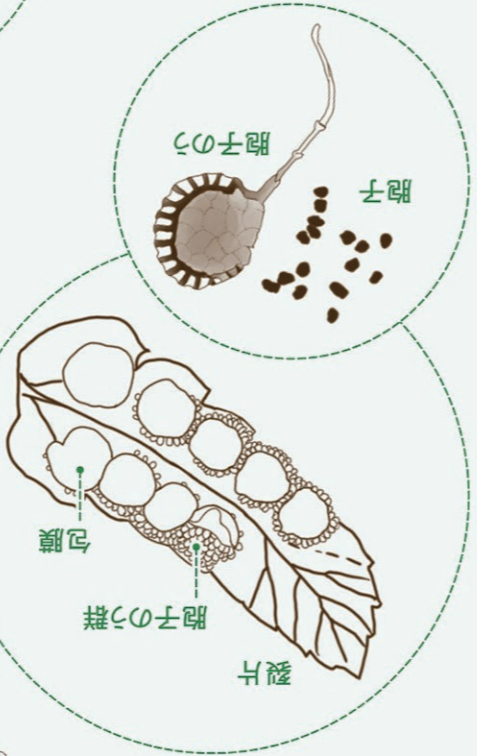
雨水の中を精子が泳いで卵子にたどりつく、受精卵を形成して、ようやく孢子体が形成されます。多くのシダでは、孢子体がゆっくりと数年かけて成長し、再び孢子をつけて次世代を残すようになります。



【中面 伊尾木洞で見られるシダ10種】
1)ホウレンシダ 2)ホウライシダ 3)ホウライノア 4)ノコギリシダ 5)マツサカシダ 6)コウサキシダ 7)ウラボシロ 8)クハラシ 9)イワヒトコ 10)ヒメシダ

シダ植物の からだのつくり

シダ植物にはいわゆる「茎」がありません。「根茎」から一枚ずつ「葉」が伸びます。葉は「葉柄」と「葉身」からなっています。



さまざまなかたち のシダのかたち

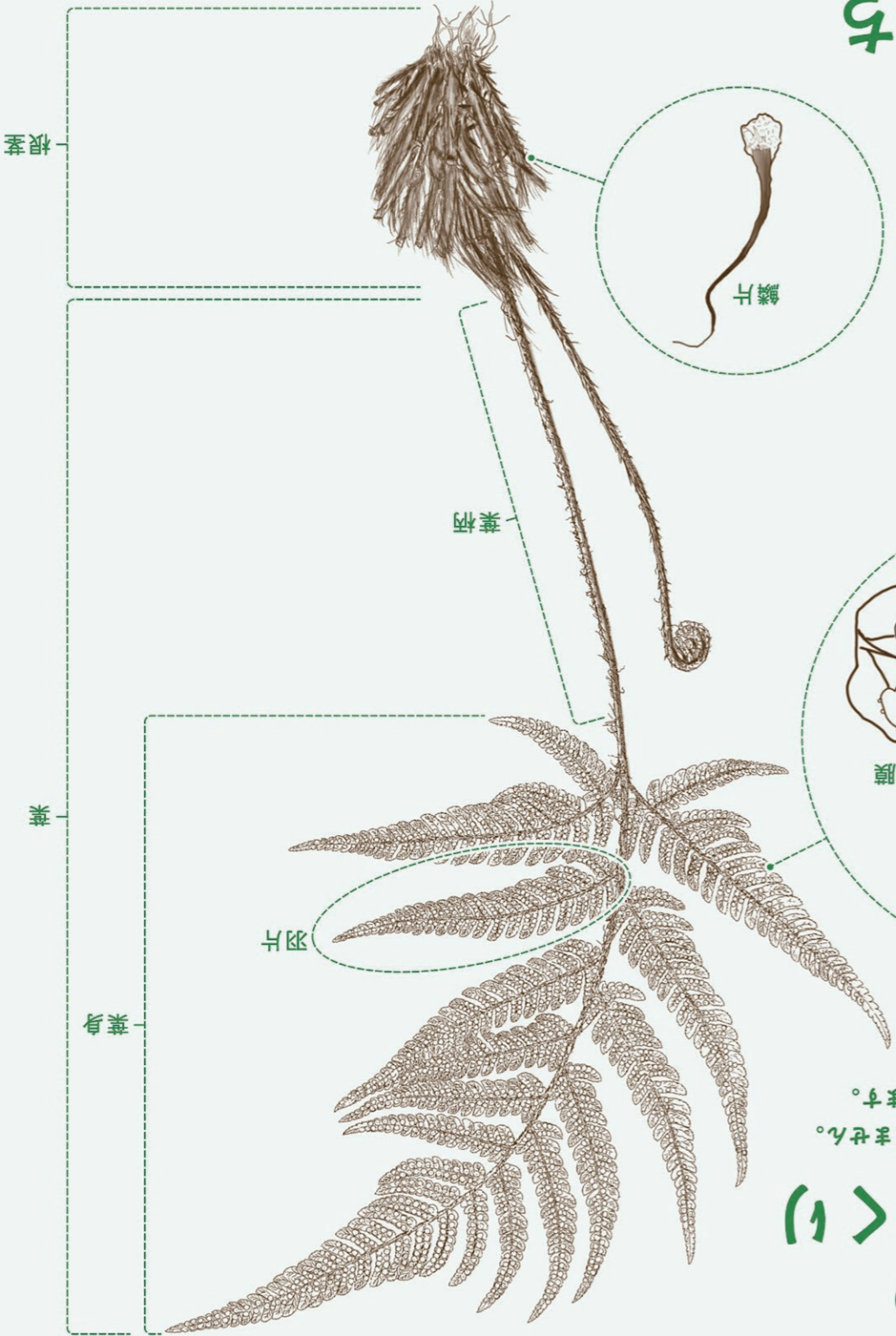
多くのシダは1~2回切れ込み、稀に切れ込みがない種があります。

葉先の切れ込み方と形はさまざま。

虫や鱗片も少過剰に付く特徴があります。

包膜はコップ状・楕円形・円形が多く、包膜をもたない種も。

葉脈は単純なものから複雑な網目状のものまで。



PTERIDOPHYTES in Ioki-do

